

J R 東海労
大二運分会

交差点

No. 301
2011 年 5 月 24 日
責任者：高原弘幸
発行：教宣部

脱原発！

人類破滅のリスクのある 原発はいらない！！

福島第一原発事故で放出された放射性物質は、気流により拡散され近隣住民を含め、広範囲な地域の人々が直接放射性物質にさらされたり、土壌を汚染しました。また、燃料棒を冷却するために供給された高純度の汚染水は瞬く間に海へと拡散され海をも汚染しました。

海の汚染は、大きな魚が小さい魚や海草などを食べ、食物連鎖により頂点はクジラとして全世界の海洋に拡がることになり、もはや取り返しのつかないことになりました。

特に福島第一原発3号機はプルサーマルでの運転のため燃料に高い比率でプルトニウムが混ぜられていて、各地でプルトニウムが検出されました。人体の臓器や骨に沈着するセシウムやストロンチウムは半減期が30年ほどかかります。プルトニウムの半減期においては2万4000年という子や孫の代より遙か未来の子孫の代まで汚染してしまいます。

代替えエネルギーの利点 蒸気機関車VSジェットエンジン(ハイブリッド)

人類を破滅さす原発は、放射能の問題だけでなく実は熱効率も非常に悪いのです。

原子炉で発生する熱の3分の2は海水に放出し、さらに発電所が立地条件が消費地から遠いため高圧線を通る電力の半分近くが熱となって大気中に放出され、結局核分裂で得たエネルギーで最終消費者が電力消費として回収できるのは6分の1です。6分の5は熱エネルギーとして放出されてしまうのです。(蒸気機関車)

一方火力発電はガスタービンを使ったコンバインドサイクルという発電方法で熱交換率が最高効率60%を越え、立地も消費地に近いので送電ロスも原発の比ではありません。すでに1500度を超える高温で使用できるガスタービンが実用化され、廃熱温度も高いので廃熱を利用して水を沸騰させ蒸気タービンを回転させる効率的な方法です。(ジェットエンジン)

ただCO₂の排出という問題もありますが、放射能の比では無論ありません。

他にも太陽光発電、風力、地熱、潮力・・・と地球環境、人類を破滅させない発電方法は色々あります。

原発のCMで「CO₂を排出しないクリーンなエネルギー！」と言った某俳優T氏や某プロ野球監督H氏は今に至っていったいどう思っているのでしょうか・・・？

